

都市再生整備計画

かわまたえきしゅうへん だい き だい かい へん こう
川俣駅周辺地区(第2期)(第4回変更)

群馬県 めいわまち
明和町

令和5年11月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	群馬県	市町村名	明和町	地区名	川俣駅周辺地区(第2期)	面積	20.5	ha
計画期間	令和1年度～令和5年度	交付期間	令和1年度～令和5年度					

目標
・駅前のにぎわい再生による都市の資産価値向上 ・「イクボスのまち明和」の実現に向けた女性の働きやすさ、子育てしやすさに配慮した都市環境の創出 ・高齢者の健康増進・介護予防 ・災害に強い市街地形成に関する対策の実施
目標設定の根拠
都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。 本町では、町の中心部に位置する東武伊勢崎線川俣駅が都心部から約1時間という地理的条件に恵まれていることから、町の中心部にある約90haの住居系市街化区域、町西部及び隣接町を合わせると約400haを超える大規模な工業団地があり、多くの駅利用者がいる。 そこで、町民及び駅利用者等の安全性・利便性向上を図るため、平成23年度から社会資本総合整備計画(都市再生整備計画)「川俣駅周辺地区(第1期)」として、川俣駅橋上駅舎化及び自由通路、東西駅前広場、情報発信スペース等の整備を実施した。 しかしながら、駅を中心とした真の賑わいの創出にはつながっておらず、官民連携による町の賑わいの創出を図るための検討を重ね、平成31年2月に民間事業者「株式会社邑楽館林まちづくり」が設立された。 こうしたことから、川俣駅を中心とした中心市街地において、官民連携により民間や公共が保有する低未利用を活用して、民間活力による医療施設・複合商業施設の整備を図り、医療機能の確保、日用品買い回り施設等の生活機能の確保、企業来訪者の宿泊施設の整備、老朽化した公共施設である保健センターを医療施設との複合化を図り、施設利用者の利便性向上、公共施設の集約を図る。 同時に、中心市街地における防災力を高めるため、整備する施設における防災対策を推進し、災害に強い市街地形成を図る。
まちづくりの経緯及び現況
本町は、2011(平成23)年より川俣駅周辺の交通結節機能向上に取り組み、東西駅前広場や東西自由通路の整備などを進めてきた。一方、2016年度に町内企業で働く町外在住者を対象としたアンケートを実施した結果、町へ移住・定住するための必要条件として最もニーズが高かったのは、「地域医療の充実」で59.4%、次いで「駅等の交通網整備」48.7%であった。当時、駅等の交通網整備、周辺道路整備などに着手していたが、地域医療の充実については未着手である。 また、2017年11月には、地方創生総合戦略に基づく地域再生計画「女性が輝くまち明和のイクボス化計画」の認定を受け、川俣駅周辺の都市機能の誘導を進めている。子育て支援に係るアンケート(地方創生加速化交付金事業)結果でも「医療体制について満足していない」との回答が65.9%と高くなっている。加えて、老朽化する公共施設の再編、集約、複合化なども大きな課題となっている。 館林都市圏(1市4町)では、2017(平成29)年、都市圏が一体となってコンパクトシティ＋公共交通ネットワークのまちづくりを推進する「広域立地適正化に関する基本方針」を定め、本方針を踏まえて、2018(平成30)年、「明和町立地適正化計画」を策定し、駅周辺への医療施設や商業施設等の都市機能の誘導を推進し、中心拠点の機能強化と都市圏での連携・機能分担を進めていくものである。
課題
・駅利用者や町民、町で働く人々の買い物や心身の健康づくりなどの日常生活を支える中心拠点の形成が求められている。 ・女性が輝くまち明和のイクボス化計画の実現のため、子育て支援や通勤利便性などの充実が求められている。 ・人々が行き交う、にぎわいのある町の玄関口の創出が求められている。 ・本町への移住・定住するための必要条件として最もニーズが高かった「地域医療の充実」「駅及び幹線道路等の交通網整備」は喫緊の課題といえる。 ・老朽化する公共施設の集約、複合化などの効率的な施設整備、運営が求められている。 ・最大規模被害想定においてほぼ町内全域が浸水する本町において、都市機能誘導区域内に水害時に避難可能な施設がないことから、公共施設整備の際には防災対策の実施や、新たな避難所の確保が求められている。
将来ビジョン(中長期)
【第6次明和町総合計画】 ゆとりとうるおいを育むまちづくりの一環として、川俣駅周辺の整備を掲げている。 【明和町総合戦略】 川俣駅周辺整備等を行い都市機能を誘導して駅周辺のにぎわいを創出していくとともに人口の定着化を図ることを掲げている。 【明和町都市計画マスタープラン】 「うるおいと活力を育む 健康安全都市」という将来像のもと、良好な居住環境と都市機能の誘導を図り、川俣駅周辺を「生活拠点」「交通結節点」と位置付けている。 【明和町立地適正化計画】 川俣駅周辺概ね500m圏内の「川俣駅周辺地区」を都市機能誘導区域に設定し、医療施設、商業施設、地域交流施設等の誘導を図ることを掲げている。 【明和町公共施設等総合管理計画】 施設の複合化・集約化を図るとともに、施設整備や管理への積極的な民間活力の活用をすることを掲げている。

都市構造再編集中支援事業の計画 ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。							
都市機能配置の考え方 ・町の中心部には、役場、図書館、体育館、公民館、保健センター、中学校等の多くの公共施設が既に集約されているが、公共施設等総合管理計画に基づき施設の統廃合を推進し、効率的な行政サービスを図る。 ・川俣駅やバスターミナルといった交通結節点機能を活かし、複合商業施設(宿泊施設＋温泉施設)と合わせて交流人口の増加を図る。 ・駅、公共施設、工業団地等を結ぶ総合的交通ネットワークの検証及び整備計画の策定を図る。							
都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方 ・駅周辺に有する公有・私有の低未利用地を活用し、保健センターの移転を前提とした医療施設・保健センターの官民複合施設を整備し土地利用を図る。 ・民間事業者に対しては、町有地等について定期借地権、適用可能な補助事業の活用等により事業計画の向上の支援を行う。 ・保健センターと医療施設を複合することにより、女性の働きやすさ、子育てしやすい環境の創出を図る。 ・医療機関と連携し、施設に隣接するイベント元気広場において、高齢者の健康増進を図り医療費増を抑制する。 ・駅東口ベデストリアンデッキやエスカレーターを設置することにより、駅周辺の都市機能誘導施設間の回遊性を高め、居住誘導区域内の人口維持を図る。							
都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等							

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
駅周辺地区の地価の向上	円／㎡	国土交通省地価公示(群馬明和-2)	駅周辺地区の再生による資産価値の向上	30,600	H29	30,600	R5
子どもの出生数の増加	人／年	住民基本台帳ベースの出生数	子育てしやすい環境の創出による「イクボスのまち明和」の実現	75	H29	90	R5
高齢者一人当たりの医療費増の抑制	円／人	65歳以上の高齢者一人当たりの医療費の年額	高齢者の健康増進を図り医療費増を抑制	516,600	H29	516,600	R5

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
【駅前のにぎわい再生による都市の資産価値向上】 駅前の公有地や民間低未利用地を活用し、都市機能施設(医療施設・保健センター)及び機能向上のための駅直結ペDESTリアンデッキ、エスカレーター、駅西口バスターミナルを官民連携によって整備し、鉄道及びバスでの来訪しやすい魅力ある中心拠点を創出する。	道路:町道2-507号線道路改良、町道2-267号線道路改良 地域生活基盤施設:駅東口ペDESTリアンデッキ、駅西口ペDESTリアンデッキ 誘導施設:社会福祉施設(駅東口保健センター) 地域創造支援事業:総合的交通ネットワーク検証・策定業務 (参考)関連事業:駅東口医療施設、駅西口複合商業施設、駅西口温泉施設 駅西口バスターミナル
【「イクボスのまち明和」の実現に向けた女性の働きやすさ、子育てしやすさに配慮した都市環境の創出】 明和町で進める「イクボスのまち」の実現に向けて、ニーズの高い医療施設・保健センター及び機能向上のための駅直結ペDESTリアンデッキ、エスカレーター、駅西口バスターミナルを官民連携によって整備し、町民や町内通勤者の働きやすさ、子育てしやすさに配慮した都市環境を形成する。	道路:町道2-507号線道路改良、町道2-267号線道路改良 地域生活基盤施設:駅東口ペDESTリアンデッキ、駅西口ペDESTリアンデッキ 誘導施設:社会福祉施設(駅東口保健センター) (参考)関連事業:駅東口医療施設、駅西口複合商業施設、駅西口温泉施設、 駅東口イベント元気広場、駅西口バスターミナル
【高齢者の健康増進・介護予防】 高齢化の進む地域において、高齢者の健康増進・介護予防を図るため、駅周辺に都市機能を集約配置することで歩いて暮らせるコンパクトな市街地を創出する。 また、医療施設には温泉を活用した温泉療法等の導入を図り、高齢者をはじめ、町民等の健康増進に資する施設としての機能向上を図る。	地域生活基盤施設:駅東口ペDESTリアンデッキ、駅西口ペDESTリアンデッキ 誘導施設:社会福祉施設(駅東口保健センター) (参考)関連事業:駅東口医療施設、駅西口温泉施設、駅東口イベント元気広場
【災害に強い市街地形成に関する対策の実施】 新たに整備する社会福祉施設の防災対策を推進し、災害に強い市街地形成を図る。特に水害時の浸水対策として電気施設・電源設備の上階への設置を実施し、民間施設との連携も図りながら、浸水時も避難場所としての機能を果ただけでなく医療の提供も可能な体制を形成する。	地域生活基盤施設:駅東口ペDESTリアンデッキ、駅西口ペDESTリアンデッキ 誘導施設:社会福祉施設(駅東口保健センター) (参考)関連事業:駅東口医療施設、駅西口温泉施設
その他	
【まちづくり会社の設立】 ・現在、官民連携によるまちづくりを進めるための母体となるまちづくり会社「(株)邑楽館林まちづくり」を平成31年2月1日に設立した。 ・町内及び周辺市町の工業団地等の事業所を対象としたニーズ調査を実施し、企業ニーズの詳細アンケート、ヒアリングや駅利用実態調査を実施した。 ・まちづくり会社「(株)邑楽館林まちづくり」による再生事業を契機に、エリアマネジメントへの発展、交流人口拡大など更なる検討を進めていく。	

様式(1)-④-1

(金額の単位は百万円)

7...A

1...B0.06,546.4

都市再生整備計画区域
川俣駅周辺地区（第2期）：20.5ha

主要地方道佐野行田線

国道122号

東武伊勢崎線

川俣駅

明和町役場

文化館

図書館

体育館

明和中学校

凡例

- 国道
- 県道
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域
- 都市再生整備計画区域

縮尺 1 : 10000

100 50 0 100 200 300 400

カワマタ エキシュウヘン

メイワ マチ

川俣駅周辺地区(第2期)(群馬県明和町) 整備方針概要図(都市構造再編集集中支援事業)

目標	・駅前にぎわい再生による都市の資産価値向上 ・「イクボスのまちの明和」の実現に向けた女性の働きやすさ、子育てしやすさに配慮した都市環境の創出 ・高齢者の健康増進、介護予防 ・災害に強い市街地形成に関する対策の実施	代表的な指標	駅周辺地区の地価の向上 (円/㎡)	30,600 (H29年度) → 30,600 (R5年度)
			子どもの出生数の増加 (人/年)	75 (H29年度) → 90 (R5年度)
			高齢者1人当たりの医療費増の抑制 (円/人)	516,600 (H29年度) → 516,600 (R5年度)

